



新種のコロナウイルスは、クルド自治政府を巻き込んだ。
最新プログラムは次のとおりである。

5カ国からの訪問者を禁止する。クルド自治政府内務省は水曜日、コロナウイルスの勃発の恐れが高まる中、5カ国の市民のクルディスタンへの入国を禁止する新たな命令を出した。この命令によると、タイ、韓国、日本、イタリア、シンガポールからの人々は、クルディスタン自治政府へのビザや入国書類を与えられない。内務省はまた、2020年に中国、イラン、および前述の5カ国を訪問したすべての個人は、彼らがコロナウイルスに感染していないことを確認するために追加の医療検査を受ける必要があると言った。

主要なお祭りはキャンセルされる。エルビル州知事は水曜日、コロナウイルスの流行に対する措置の一環として、すべてのナウロズ(クルド新年)フェスティバルが中止されると発表し

た。毎年3月21日、クルド大晦日を迎え、クルド人が集まり、クルディスタン周辺の春の始まりを祝う。モセツ・ソファフィ知事は記者団に対し、クルディスタン自治政府でコロナウイルスの症例が確認されていないにもかかわらず、今年はずべての公開フェスティバルが中止されると語った。

学校は休校となる。クルド自治政府(KRG)は火曜日、コロナウイルスの拡散を恐れて学校と大学を1ヶ月近く閉鎖することを決定した。この決定は、自治政府の首都エルビルにおいて、マスール・バルザー二首相が議長を務めた閣議で行われた。エルビル、スレイマニヤ、ドゥホク、ハラブジャの知事も出席した。プレスリリースによると、学校と幼稚園は2月27日から3月24日まで閉鎖される。大学や他の高等教育機関については、2月29日に休暇が始まる。

より多くの人々が検疫に入れられる。クルド自治政府(KRG)は水曜日、コロナウイルスにより20人近くが死亡した隣国イランから帰国した合計1734人を検疫に入れたことを明らかにした。リバル・アーメド内相は記者団に対し、クルディスタン地域では今のところコロナウイルスの症例は登録されていないと述べ、ウイルスの拡散を防ぐために必要なすべての予防措置を講じると付け加えた。アフメド内務大臣と共に会見したサマン・バルジンジ保健大臣は、15の別々の施設で合計1734人を検疫に入れたと指摘した。